



【略図】みちのく潮風トレイルコース（赤線）と主なスポット



▶みちのく潮風トレイル 特設サイト = [tohoku.env.go.jp/mct/sp/](http://tohoku.env.go.jp/mct/sp/)

◀浄土ヶ浜ビジターセンター HP = [jodogahama-vc.jp](http://jodogahama-vc.jp)



干潮時にしか渡れない檜内浜（田老）のトレイルコース



山と海の魅力を楽しむことができるみちのく潮風トレイル（写真は三王岩のトレイルコース）

## みちのく潮風トレイル全線開通

みちのく潮風トレイルは、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までの海岸線を中心に設定された「歩くための道」です。トレイルのルートは地元の人たちからの意見を参考に設定され、これまで部分的に開通してきましたが、6月9日に全線が開通し、ようやく「一本の道」としてつながりました。全長千キロを超えるこのトレイルの特徴は、東北太平洋沿岸ならではのダイナミックな海



みちのく潮風トレイルの魅力語る浄土ヶ浜ビジターセンターの佐々木洋さん

川、里、森と連続する美しい景観です。自然と共にある人々の暮らし、積み重ねられた歴史・文化は、厳しくも豊かな自然の恵みと重なり合いながらいまにつながっています。歩く中で生まれる人と

の温かな交流もこのトレイルの大きな魅力のひとつです。浄土ヶ浜ビジターセンター職員佐々木洋介さん（35）は「歩きごたえのあるコースですが、魅力的な宮古の自然や文化をゆっくり堪能できます。特に浄土ヶ浜をゴールにしたトレッキングコースがおすすです」と、新たに繋がったトレイルコースの魅力を語ります。今年の夏は、みちのく潮風トレイルで新しい東北の魅力を見つけませんか？

▼6月に全線開通した「みちのく潮風トレイル」上で紹介している特設サイトではおすすめのコースやイベント情報などを発信しています。絶景ポイントも多く、トレイルを歩けば素敵な写真が撮れること間違いなし！仲間と、家族と、恋人と旅してみたいかがでしょうか。【淳】

▼いわて絆まつり取材（表紙）。他市町村の神楽や太鼓など見る機会はなかなかないので、楽しみにしていました。ところが、当日は青空が見えたりと、ほぼ雨に打たれることなく取材ができました。皆さんの日ごろの行いに感謝です。【元】

▼スポーツ特集の取材で、青少年のひたむきに挑む姿に素直に心打たれました。結果がどうであれ、頑張った自分や共に戦った仲間との思い出は一生の宝物です。私もそんな思い出が今でも色褪せず輝く瞬間があります。「フレフレ！若人！あつ、私もまだ若人か？【道】

目の不自由な方に広報などのCD（デザイン）を無料で貸し出しています（宮古音声訳の会 ☎兼FAX72-2537）。

耳の不自由な方など記事への問い合わせが電話だと難しい方は、市秘書広報課広報係へファクスまたはメールで問い合わせてください。

【ファクスでの問い合わせ】  
FAX63-9114

【メールでの問い合わせ】  
✉info@city.miyako.iwate.jp

編集後記

